



# どんでい



パークセンターだより 第95号 2009年2月・3月号

## 千葉県の鳥「ホオジロ」

自然解説員  
直井 宏

「ホオジロ」...スズメ目ホオジロ科 16～17cm、留鳥、漂鳥（りゅうちょう ひょうちょう）。

アジア東部に広く分布して、中国北部、東部、シベリア東南部、朝鮮半島、日本では屋久島から北の全国の、平地から1,600mくらい（それ以上はまれ）の低木のある草地、日の当たる林、林縁、耕地、立木のある川原に生息しています。北海道では夏鳥。21世紀の森と広場でも自然生態園を主に、年間を通して観察することができます。



ホオジロ

「ホオジロ」は「スズメ」（14.5cm）より少し大きく、名前のように顔は白が目立つ黒との模様になっています。（白い部分は眉班、頬線、喉、黒い部分は頭側線過眼線、耳線）。体は赤褐色で背中に黒い縦班があり、飛び去る時に尾羽根の外側の白い一対が目立ちます。メスは全体に色が薄く、頭の黒い色がない

繁殖期のオスは見通しのよい梢や電線などに

止まってくちばしを上に向け、澄んだ良く通る声でさえずり縄張りを主張します。美しいホオジロのさえずりは昔から「一筆啓上仕り候」とか、「源平つつじ白つつじ」等と「聞きなし」されています。地鳴きは「チチ、チチチ」などとくり返します。

秋、収穫を終えて野焼きの煙が立ち込めるころに、里山などを散策していると、繁殖期でもないのに盛んにさえずるホオジロに出会うことがあります。次の春の繁殖にそなえて縄張りを確保する準備をしているのでしょうか。面白いことに翌年その場所の付近で営巣する個体を見る機会が多くあります。繁殖のための巣は、地上から1.5m以内程度の低木に、枯れ草や根で椀型の巣を作り、3～5個産卵して12日前後で孵化し、約13日くらいで巣立ちをむかえます。

「ホオジロ科」や「アトリ科」の鳥たちは、秋、冬、早春の非繁殖期には主に植物の種を餌としていますが、繁殖期間中は食性が変わって、ヒナに与えるえさと同じ、動物質で高タンパクの消化吸収の良い青虫や小さな昆虫などに切りかわります。いつもは林縁や低木のある草地・川原にいるホオジロが、林の奥の方で見られるのは、子育て中で青虫や昆虫を捕るためです。元が太く先が鋭く尖ったくちばしは、小さな雑草の種子をピンセットのように拾ったり、青虫や昆虫を捕らえる時に、太い元の部分は硬い穀類をすりつぶすなど、両方に適合した理想の形状なのです。巣は森や林の奥の方には作りません。

ホオジロが県の鳥の千葉県は、房総丘陵嶺岡山系の「愛宕山」が408mと最高所で、全国都道府県の平均海拔がいちばん低い県です。さらに海につき出て沖合いに黒潮が流れている房総半島は気候が温暖で、利根川をはじめ広大な流域の耕地を持つ河川も多く、それを囲む丘陵・台地はホオジロが生息・繁殖をする最良の環境で、どこへ行っても多数観察され、千葉県の風土にいちばん合った野鳥として、昭和40(1965)年5月に県の鳥として指定されました。



カシラダカ

## 21世紀の森と広場で見られる主なホオジロ科の越冬環境

	ホオジロ 16.5～17cm 留鳥・漂鳥	アオジ 16cm 留鳥・漂鳥	カシラダカ 15cm 冬鳥	オオジュリン 16cm 留鳥・漂鳥
低木(ていぼく)のある草地				
日の当たる林				
日差しが少ない林、植え込み				
林縁(りんえん)				
耕地(こうち)				
低木・ヨシのある川原・湿地(しっち)				

## ホオジロ科4種の渡り（移動）の方法

	ホオジロ 16.5～17cm 留鳥・漂鳥 (近距離)	アオジ 16cm 留鳥・漂鳥 (近距離)	オオジュリン 16cm 留鳥・漂鳥 (近距離)	カシラダカ 15cm 冬鳥 (長距離)
星座(せいざ)の位置				
陸地の目標の記憶				
体内時計と太陽の位置				
太陽の位置と偏光(へんこう)				
地磁気(ちじき)によって				

冬鳥のカシラダカの長距離の渡りは、気象条件によって複数の航法こうぼうを組み合わせ、現在位置を知り、どの方向にどれだけ飛ばせば良いかを測はかって渡りをするのだと考えられています。

留鳥...一年を通して同じ場所に留とどまり、繁殖えいじゆと越冬えいとうを行う鳥

漂鳥...暑さ、寒さを避けるため、夏は山地、冬は平地、と言うように繁殖地と越冬地ひかくてききんきょりの間(比較的ひかくてき近距離)を移動する鳥



## ～自然観察舎・湿地の観察会のご案内～

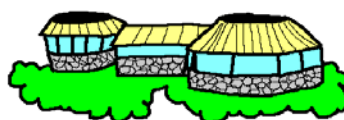
実施時間	実施日
10:00～10:30	
11:00～11:30	
13:30～14:00	
14:30～15:00	

【定員】先着25名(当日受付)

【受付】自然観察舎窓口

(開始時間までにお申込下さい)

047-340-4140



# 行事に使われる植物たち (12月～1月)

自然解説員  
川端祥子

前回(8・9月号)に続いて、12月の行事から思い出してみましよう。12月という年の瀬、大掃除ですね。日本では昔から神社仏閣に限らず、各家々でも隅々まで一年間の汚れを拭い、きれいにして新しい年を迎える風習があります。この大掃除に使われるのがササダケです。ササダケは葉の付いた竹や笹の枝を長い竹の先に結んで箒をつくり、高い軒下や天井などのほこりやすすを払うのにつかわれます。12月に入るとあちこちの神社のすすはらいの様子が新聞紙面を賑わせていますね。中旬には冬至があります。冬至は一番昼の時間が短い日です。昔の人は大切な太陽の元気がなくなつたと考え、元気になってもらうための行事をいろいろ行ってきたようです。例えば元気になるための食べ物を供えて一緒に食べたり、一年中燃やし続けた火種を新しいものと取り替えたり(おけら火といわれている神事のひとつ)などの風習がのこっています。カボチャを食べたり、ユズ湯に入ったりするのもそのひとつでしょう。ただカボチャは450年位前に日本に伝えられたものといわれていますが、野菜が不足する冬まで保存がきくため体力回復に使われるようになったと思われます。

クリスマスはキリスト教徒にとっては教祖キリストの誕生を祝う大切なお祭りです。最近の日本では商魂に乗せられて浮かれ騒いでいる大勢の人をみかけます。教徒たちはこの日は教会にいて祈りをささげ、そのあと各家庭で静かに祝うときいています。ところでクリスマスにはツリーを飾りますね。モミの木やトウヒの木(日本ではドイツトウヒが多い)が使われていますが、老樹を神の宿る樹として祭る人々(樹木崇拜)をキリスト教に改宗させるために樹を切り倒し、室内に飾ったのが始まりという説やろうそくを星に見立てて飾ったという説などその始まりははっきりしていません。カードやリースにはヒイラギの葉や赤い実、ヤドリギが飾



チャイニーズ・ホーリー



られています。ヒイラギはセイヨウヒイラギといって日本のヒイラギとは葉の形は似ていますが全く違うものです。日本のものは冬花が咲き春黒い実ができ、葉のつき方も対生なのに対して、セイヨウヒイラギの花は5月頃咲き秋から冬にかけて実が赤くなります。葉のつきかたは互生（互い違いにつく）です。ヤドリギはもともとは太陽の復活を祈る冬至の祭りに使われていたのが、キリストの誕生日が近いことからキリスト教の布教活動のときに吸収されて残ったのではないかといわれています。人々は緑の少ない冬でも青々とした葉をつけたヤドリギに春の精が宿っていると考えていたようです。

正月飾りは28日か30日までに飾っています。29日は二重苦、苦がつくといってきたらい、31日は一夜飾りといってあわただしいおざなりの飾り方をさけたいという気持ちと、また死者を弔うときと同じ飾りかたなのでさけたようです。外の飾りには門口に飾る門松と玄関などに飾る注連飾りや玉飾りがあります。門松には普通マツとタケがつかわれます。どちらも神の依代（よりしろ - 神が降りて来るところ）として使われる木です。地方によってはサカキやシイ、カシ、ツバキなども使われるようです。注連飾りや玉飾りは新しい稲わらを編んでつくり、和紙でつくった幣（へい - 神への捧げものをあらわす）といっしょにユズリハやダイダイの実、ウラジロ、コブなど縁起がよいとされるものを飾ります。ユズリハは親から子へ、ダイダイは家が代々栄えるように、ウラジロはいろいろな説があるようだが葉の裏が白いところから後ろ暗いところがない清浄心を表すとし、地域によっては稲穂を表し豊作を願ったともいわれています。最近では



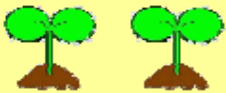
マンリョウ

出来合いです。すまさんが多いお節料理にもいろいろ語呂合わせがあるようですが、もとは歳神様へそなえた料理を年の始めに歳神様と一緒に食べたのが始まりですが、だんだん、毎日かまどの番をし家族の食事づくりに追われる女性たちに、せめて正月くらいはかまど番をしないですむようにと変わっていったといわれています。年賀の挨拶に来られる方への接待用にと徐々に種類もふえていったようです。家の中の飾りには鏡餅があります。これは歳神様へのお供えといわれています。ウラジロをしいて餅のせ上にダイダイや串柿を飾ります。丸い形は神との

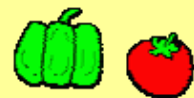
交信こうしんに使う鏡を表し、串柿つるぎは剣を表しているといわれています。家に持ち込む植物もナンテン、フクジュソウ、センリョウ、マンリョウといった縁起のよい名前えらのついたものが選ばれています。また年の初めに酌み交わす酒も屠蘇酸とそさんといわれている何種類もの薬草やくそうをつけこんだものが用意よういされます。おとそといわれています。このあとは7日の七草粥ななくさがゆ、11日のお鏡開き、14日のどんど焼き、15日の小正月こしょうがつと続きます。七草粥はお正月疲れの胃を休めるのと芽が伸び始めた若菜摘みわかなたに出かけるという運動うんどうをかねた長寿ちようじゆを願う行事ねがのようです。七草はセリ、ナズナ、ゴギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ、ホトケノザ(コオニタビラコ)、スズナ(カブ)、スズシロ(大根)の七種です。昔はいずれも野生のものだったと思います。お鏡開きは小さく手で割ったモチをお汁粉しるこにして楽しめます。小正月は女正月ともいわれ女性の休日です。前もってつくっておいた小豆粥あずきがゆがメインになります。14日の夕方おこな行われるどんど焼きは地域の正月飾りを集めて燃やし、その火でモチを焼いて食べると病気にむびようそくさいならないという無病息災を願う正月最後の行事です。この煙けむりと一緒にお正月様は帰るといわれています。街中まちなかでは見られなくなりましたが、まだ地方ちほうでは続いていると思います。



フクジュソウ



## みどりの相談室



パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時～12時・午後1時～3時30分

【電話】 047-345-8738 ハナミツバチ

# はち サクラを鉢で楽しむ

みどりの相談員  
のくちのりつぐ  
野口 宣二

まだ少し早いかもしれないが、日本の花といえばサクラ。このサクラを庭の片すみや、また窓の中に取り入れてみたいとは思いませんか。従来、サクラは大木になり庭でも狭いのに鉢で楽しむなど無理だと思われていましたが、サクラの種類と栽培方法が良ければ立派に花を咲かせることができます。

サクラには非常に多くの品種があり、その中には矮性のものもあり、その中に「旭山」というサトザクラの園芸種があります。八重咲きで大輪、花色は本当のサクラ色で美しく、古くから鉢植え用として栽培されています。ときに「一才桜」と称して売られていることがありますが、本当の「一才桜」は四国の山地にまれに自生し珍しい。「ワカギノサクラ」とい実生後2～3年で開花し、10年ぐらいの樹齢しかないので珍重されており、この種は一重咲きの淡い紅色で美しく、これが本当の一才桜と聞いています。「旭山」は結実しないので実生ができないが、接ぎ木したら2年目で開花するので鉢作りに適する品種と思います。

野生のものにマメザクラ（フジザクラ）があり、花が一花房二輪ずつ咲くことから別名をオシドリザクラともいわれています。この種はさし木で増やすこともでき、小生はこの種を小鉢で楽しんでいます。このマメザクラの中にガク片が緑色のリョウガクザクラという品種があり、緑色のガクの中に開花するのでとくに美しい（富士山周辺に自生している）。

サクラ切る馬鹿...とあるようにサクラは剪定した後、かならず切り口に接ロウ等の癒合剤を塗ってやれば木の枯れ込みを防ぎ、枝を切ったり幹をつめたりしても結構じょうぶに立派な花を咲かせることができます。





# パークセンター2月・3月の催し物



講座	日時	定員	講師	費用	受付
バードウォッチング (雨天観察舎)	平成 21 年 2 月 15 日 (日) 10:00 ~ 11:30	当日先着 25 名	自然解説員 直井宏氏	無料	当日
園芸教室「宿根草の春の 株分けと植付け」	平成 21 年 2 月 21 日 (土) 13:30 ~ 15:00	20 名 (要申込)	みどりの相談員 青島尚祐氏	無料	2/1 ~
樹木の冬芽ウォッチング (雨天観察舎)	平成 21 年 2 月 22 日 (日) 10:00 ~ 11:30	当日先着 25 名	自然解説員 藤田泰氏	無料	当日
園芸教室「鉢植えのバラ のアーチ仕立て作り」	平成 21 年 3 月 7 日 (土) 13:30 ~ 15:30	24 名 (要申込)	みどりの相談員 丸尾三恵子氏	2,000 円	2/15 ~
バードウォッチング (雨天観察舎)	平成 21 年 3 月 15 日 (日) 10:00 ~ 11:30	当日先着 25 名	自然解説員 今村裕之氏	無料	当日
園芸教室 「夏野菜の作り方」	平成 21 年 3 月 15 日 (日) 13:30 ~ 15:30	45 名 (要申込)	みどりの相談員 小林喜代次氏	無料	3/1~
みどりの講習会 清里・バラクラ イングリッシュガ デンのハーブと花たち	平成 21 年 3 月 21 日 (土) 13:30 ~ 15:30	60 名 (要申込)	ハーブ研究家 桐原春子氏	無料	3/1~

申込が必要な講習会につきましては、電話または直接パークセンターまでお申込下さい。  
予定に変更が生じる場合がございますので、詳細はパークセンターまでお問い合わせ下さい。

## ご来園の皆様へお願い

安全、快適に公園を利用していただくため、本公園ではいくつかのルールがあります。  
**自転車**(キックボード含む)の乗り入れ、**ペット**の持ち込み、**テント**設営、**魚釣り**  
**り**(たこ糸を使ったザリガニ釣りはOK、テグスは不可)などは禁止となっています。  
また**動植物の採集**や鳥などへ**エサをやる**こともかたくお断りしています。きれいな花もみんな  
で採ったら無くなってしまいますし、可愛いからと、人間の食べ物を鳥などにあげると自分でエサを捕れず、自然界で生きていけなくなり、かえって可愛いそう  
なことになってしまいます。ルールを守って楽しく過ごして下さいね。

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。

発行日：2009年2月1日  
発行：21世紀の森と広場パークセンター  
開館：9:00~16:00  
(3月1日からは9:00~16:30)  
月曜休館(祝日開館/翌日休館)  
〒270-2252 松戸市千駄堀269  
TEL 047-345-8900  
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>



21世紀の森と広場シンボルキャラクター  
ドンちゃん・グリちゃん